



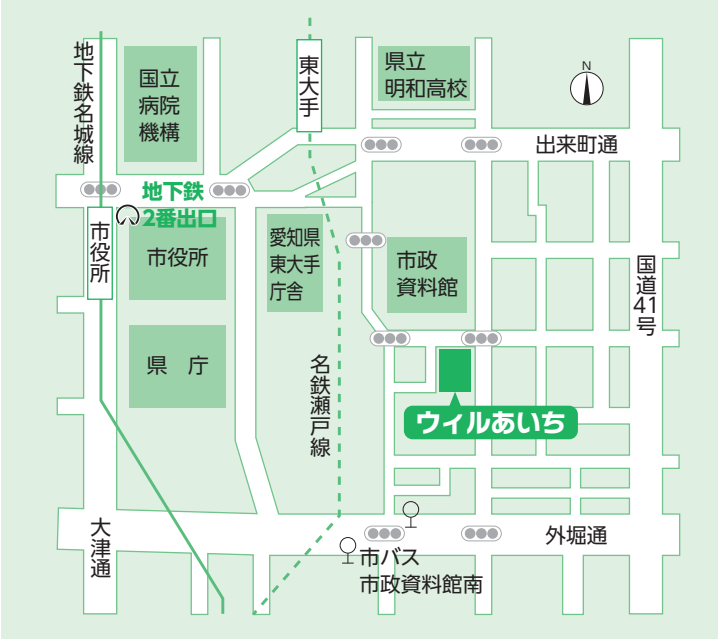
愛知県女性総合センター(ウィルあいち)のご案内

開館時間
 9:00～21:00
 ●情報ライブラリー
 9:00～19:00(日曜9:00～17:00)
 ●相談コーナー
 受付時間9:00～12:00 12:45～16:30
 (土・日曜は16:00まで)

休館日
 毎週月曜日(祝日の場合は翌日も休館)
 国民の祝日(土・日に当たるときは開館)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 *ただし、電話による施設予約は休館日の9:00～17:00も受け付けます。(年末年始を除く)
 *宿泊施設は、年末年始以外はすべてご利用いただけます。
 *情報ライブラリーは、毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日も休館)も休館します。

所在地・お問い合わせ先
 〒461-0016 名古屋市東区上野杉町1番地
<http://www.will.pref.aichi.jp/>
 ●情報ライブラリー 電話 052-962-2510
 ●相談コーナー 電話 052-962-2614
 ●施設利用受付 指定管理者 コンプレ・愛知グループ
 (ホール・会議室・宿泊室) 電話 052-962-2511

交通のご案内
 ○地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ徒歩約10分
 ○名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分
 ○基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ徒歩約10分
 ○市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ徒歩約5分
 ○駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。(駐車場有料)



「女・男 ともに輝く情報誌」

ウィルプラス



No.70 2011

編集・発行 財団法人あいち男女共同参画財団

特集 女性は働きやすくなったのか？ —均等法から25年—



- ◆イベントレポート
 あいち国際女性映画祭2010
 サテライトセミナー
- ◆セミナーのご案内 2011冬
- ◆参画トピックス
 ・愛知県 「はがき1枚からの男女共同参画」
 ・「ジェンダー不平等指数」日本は12位
- ◆団体紹介
 『農村輝きネット・あいち』
 農村に残る「女性の技」を次世代へ
- ◆相談コーナーから
 暴力の関係の中で～自分の力を取り戻す
- ◆情報ライブラリーから
 ・図書を紹介～人生と仕事を楽しむために～
 ・整理休館のお知らせ
- ◆男女共同参画まんが ウィルおじさん

編集後記
 ○今回の「ウィルプラス」はいかがでしたか？あなたのご意見ご感想を(財)あいち男女共同参画財団総務情報課までお寄せください。
 ○「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。ホームページからご覧いただけます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

ウィルプラス No.70 2011
 編集・発行 財団法人あいち男女共同参画財団
 住 所 〒461-0016 名古屋市東区上野杉町1番地
 (愛知県女性総合センター内)
 電 話 052-962-2505(代表)
 F A X 052-962-2477
 発 行 平成23年1月

女性は働きやすくなったのか？—均等法から 25 年

職場における男女の均等取扱い等を規定した「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」が昭和60年（1985年）に制定されて25年。均等法は、募集・採用、配置、昇進、教育訓練など雇用管理の各ステージで性別による差別は許されないというメッセージを広く社会に浸透させ、人々の意識を変えてきました。この間に働く女性を取り巻く環境はどのように変わったのか、振り返ってみたいと思います。

働く女性は増え、共働き世帯も増えてきた

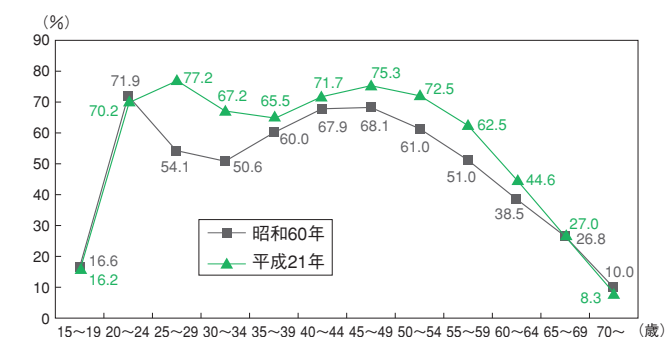
25年前、女性の労働力率ははっきりとした「M字カーブ」を描いていました。これは、出産・子育て期に就業を中断し、子育てが一段落したところで再就職するというライフスタイルをとる女性が多いことを示し、日本の特徴です。

平成21年ではカーブの底が浅くなり、台形に近づくとともに全体に高い値を示しています。この変化は結婚・出産が遅くなったことによる子育て年齢の上昇と、働く女性たちが増えたことを表しています。（図1）

そして、女性の社会進出が進んだことや経済情勢の変化などから、共働き世帯は年々増え、平成9年以降は男性片働き世帯を上回っています。（図2）

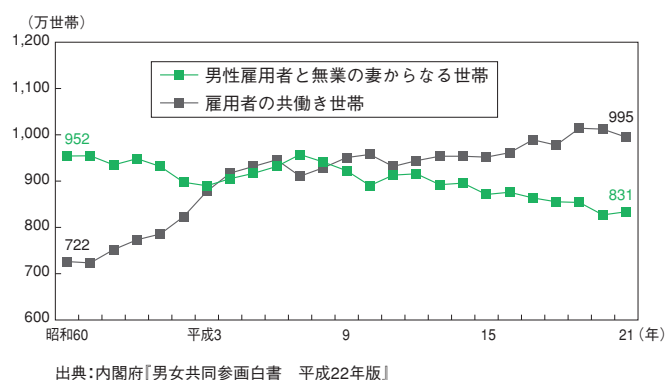
労働力人口総数に女性が占める割合は、平成21年で41.9%と過去最高になりました。（総務省「労働力調査」）

図1 女性の年齢階級別労働力率の推移



（備考）1. 総務省「労働力調査」より作成。
2. 「労働力率」…15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合。
出典：内閣府「男女共同参画白書 平成22年版」

図2 共働き等世帯数の推移



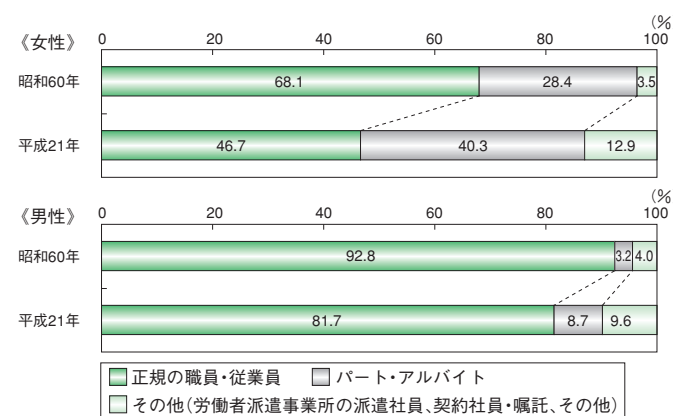
出典：内閣府「男女共同参画白書 平成22年版」

女性の非正規雇用が拡大

働く女性が増えるのと同時に進行しているのが、非正規雇用者の増加です。25年前すでに働く女性の3割は非正規雇用者でしたが、厳しい経済情勢を背景に、多様な労働形態が広がった結果、正規雇用は大きく減少し、非正規雇用者の割合は働く女性の5割を超えています。

性別役割意識や就業中断が生じやすいことが、女性が非正規雇用になりやすい理由と考えられます。

図3 雇用形態別にみた役員を除く雇用者（非農林業）の構成割合の推移（性別）



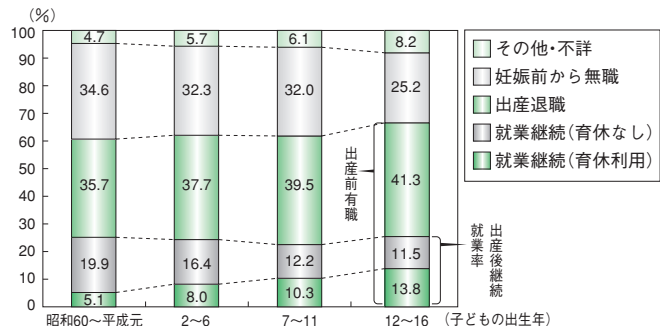
出典：内閣府「男女共同参画白書 平成22年版」

育児休業取得は増えたが、出産退職も依然多い

育児休業を取得している女性は増えていますが、出産前後に継続就業している割合は増えておらず、出産退職する女性は、まだまだ多いです。

この出産の壁を越えるには、女性だけでなく、男性の働き方の見直しも必要です。

図4 子どもの出生年別第1子出産前後の妻の就業経歴



（備考）1. 国立社会保障・人口問題研究所「第13回出生動向基本調査（夫婦調査）」より作成。
2. 1歳以上の子を持つ初婚どうし夫婦について集計。
出典：内閣府「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）レポート2010」

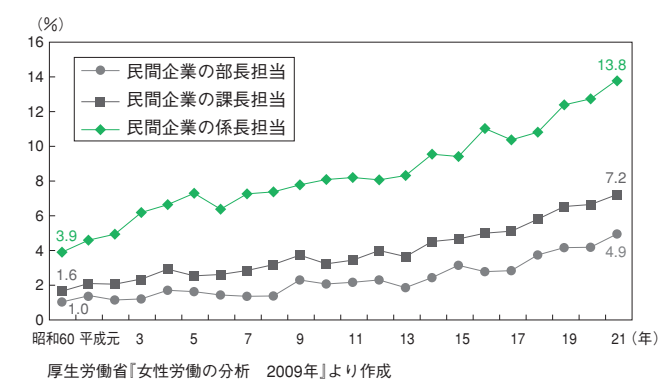
増えているが、まだ少ない女性管理職

管理職に占める女性の割合も、上昇傾向にはあるものの、まだまだ低い状態です。

女性が活躍できる職場づくりのための取組みとして「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」がありますが、行っている企業はまだ3割（厚生労働省「雇用均等基本調査」平成21年）に過ぎず、大企業が中心です。

潜在的な女性の能力をもっと生かすことができれば、新たな視点からの企画やサービスが生まれるなど、企業にとってもメリットがあるはずです。

図5 役職別管理職に占める女性割合の推移（企業規模100人以上）



あいち国際女性映画祭2010

平成22年9月8日（水）から12日（日）の5日にわたり、15回目となる『あいち国際女性映画祭2010』を開催しました。

オープニングでは、彫刻家イサム・ノグチの母であるレオニー・ギルモアの生涯を描いた日本初公開作品「レオニー」（松井久子監督）を上映しました。

また、本映画祭初の試みとして韓国の若手女性監督4名を招き映画制作ワークショップを開催し、参加者は3班に分かれ、監督と共に9日（木）からの3日間で撮影・編集を行い、12日（日）に上映会を行いました。

ご来場いただいたお客様からの投票で決まる観客賞には「レオニー」、愛知県興行協会賞には、埼玉県の時制高校の入学から卒業、その後までを捉えたドキュメンタリー映画「月あかりの下で」（太田直子監督）が選ばれました。



野上照代さん 松井久子監督 太田直子監督 大塚興行協会理事長

希望と安定が必要です

では、女性は働きやすくなったのでしょうか。

従来は男性しか雇用されなかった分野でも女性に門戸が開かれ、女性の働く場が広がりました。積極的に女性を活用する企業も増え、働き続けられる環境も整ってきました。

女性には補助的な仕事しか与えられず、結婚退職が当然視されたかつての状況と比較すれば、女性にとっては明るい展望が開ける変化でした。

しかし、一方で労働基準法の一般的な女性保護規定が撤廃され、女性も男性並みに働くことが求められました。男性の長時間労働が解消されない状態で、家庭責任が重いまま男性並みに働くことは、仕事と家庭の両立に悩む女性を多く生み出す結果となりました。

女性の結婚・出産年齢が高くなった背景には、職場での実績を積んでから結婚・出産をし、その後も働き続けたいという女性の意識の変化もあったと思います。

また、雇用形態が多様化したことで、非正規雇用であれば働き方の選択肢が増えて働きやすくなった反面、正規雇用を希望してもかなわないという状況を招きました。

経済状況の低迷が続き雇用環境も厳しくなると、女性により影響を受けやすくなります。働きやすくなっただけで、一方で希望通りの働き方ができない女性も増えたというのが現実ではないでしょうか。

均等法制定から25年を振り返り、男女ともに仕事と家庭生活とが両立でき、将来への希望と生活の安定を感じられる社会が求められていると改めて感じます。

イベント・レポート

サテライトセミナー

10月のサテライトセミナーは、「ワーク・ライフ・バランス」夫婦で子育てーイクメンで家族仲よし 子どもイキイキ」と題して、学びの教室主宰（兼業主夫）の高田浩史さんを講師に迎え、長久手町で開催しました。子育て中のお父さんやお母さん、孫育て中の祖父母など83名の方が参加しました。

父親が積極的に育児や家事を行うことは、夫婦関係だけでなく、親子関係でも良い影響を与えたとお話いただきました。男性の長時間労働の常態化や、出産を機に約7割の女性が離職するなど女性の就労継続をめぐる状況は依然として厳しいが、子育てでも仕事もやってみないと分からないと一人ひとりに語りかけるように話されました。参加者からは「夫婦のあり方や親子の関係について見直していきたい」など前向きなコメントを多数いただきました。

～セミナーのご案内 2011冬～

※全てのセミナーに託児がついて
います。(1人につき150円)

セミナーはすべて先着順です。定員になり次第締め切ります。(託児には締切日があります。)

(講師敬称略)

息子3人!アナウンサー夫婦 子育て奮闘物語

公開講座
1

2010年6月、厚生労働省でイクメンプロジェクトが発足しました。イクメンとは、「子育てを通じて、自分自身も成長する男性」のこと。アナウンサーの笠井信輔さんは、イクメンという言葉が生まれるずっと以前から、既にイクメンを実践していらっしゃいます。今回は、笠井さんからイクメンを実践する中での思い、夫をイクメンにするには?などを教えてもらい、私たちの周りでもイクメンを育てていきましょう。



日 時 ▶▶1月22日(土) 13:30～15:30
講 師 ▶▶笠井信輔(フジテレビアナウンサー)
受 講 料 ▶▶600円
定 員 ▶▶100名

キャリアアップセミナー (全2回)

ロジカルコミュニケーション

～コミュニケーション能力を高め、社会人基礎力をアップさせよう!～

ビジネスシーンで、相手にとって「わかりやすく」「納得させるプロセス」を身に付けるために、ロジカルコミュニケーションについて学びます。自分のコミュニケーション傾向を認識して、体系立て、論理的に考えることで相手の納得を引き出すことが可能になります。このセミナーでは、講義に加えペアやトリオ、グループでのワークを効果的に組み合わせることで、実践的なコミュニケーション能力を鍛えます。

日 時 ▶▶2月19日(土)、2月20日(日) 10:00～16:30
講 師 ▶▶内田友美(㈱HRインスティテュート取締役チーフコンサルタント)
受 講 料 ▶▶(全2回)5,000円
定 員 ▶▶50名
対 象 ▶▶新人からプロジェクトリーダーなど、問題解決を図るロジカルな対話力を高めたい方

ウーマンネットワーク支援事業 1

ワークショップ「チョコレートの来た道」 ～美味しいチョコの苦い話とフェアトレード～

みんなが大好きなチョコ。でもそのチョコに隠された涙があるとしたら、あなたはどう感じますか?ワークショップでは、みんなで考えて、よりよい世界にしていこうために、みんなの力を合わせます。その過程をお楽しみください。はじめて参加の方はとても意味のある1日となりますよ。フェアトレードって何かな?と思う方もOK! ミニ・フェアトレードコーナーもあります。世界とあなたはつながっています!

日 時 ▶▶1月30日(日) 13:30～16:30
講 師 ▶▶土井ゆきこ(「名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会」発起人・フェアトレード・ショップ風's主宰)
参 加 費 ▶▶1,400円(チョコレート・お茶付、マイカップをご持参ください。)
定 員 ▶▶50名(女性)

問い合わせ・申込先

財団法人あいち男女共同参画財団 企画協働課

電話 052-962-2512 FAX 052-962-2477

Eメール willkouza@will.pref.aichi.jp

ホームページ <http://www.will.pref.aichi.jp/>

テーマセミナー1 (全2回)

婚活とは?

いまや結婚には「才能」とも呼べるような細部にわたる価値観が合うかどうかを見極める力が求められています。そして、ベストパートナーにめぐり合うためにはコミュニケーション能力も必要。今回は全2回で、未婚者が増えている現状などの講義を伺い、その後、結婚能力のコツ(コミュニケーション)について教えていただきます。婚活支援のNPO法人花婿学校の代表として全国を飛び回って活躍中の大橋清朗さんを講師にお迎えします。

第1回 日 時 ▶▶1月30日(日) 13:30～15:30
テ マ ▶▶婚活とは?
第2回 日 時 ▶▶2月6日(日) 13:30～16:30
テ マ ▶▶婚活力からコミュニケーションを学ぶ
講 師 ▶▶大橋清朗(NPO法人花婿学校代表)
受 講 料 ▶▶(全2回)1,800円 定 員 ▶▶40名

テーマセミナー2 (全3回)

男女共同参画基本計画(第3次)から見えてくるもの

基本法施行から10年が経ち、その反省も踏まえ、第3次男女共同参画基本計画が策定されました。男女共同参画社会の実現に向けて、2009年の3月から検討されてきた施策の基本的な方向や、改めて強調すべき視点を踏まえ、どう具体的に取り組みばよいかを伺います。《公開講座2》だけでも受講できます。



第1回 日 時 ▶▶2月20日(日) 13:30～15:30
テ マ ▶▶男女共同参画基本計画(第3次)の目指すもの
講 師 ▶▶鹿嶋 敬(実践女子大学教授) 公開講座 2
第2回 日 時 ▶▶2月27日(日) 13:30～15:30
テ マ ▶▶男性が家庭や地域でイキイキと輝くために
講 師 ▶▶東 珠実(椋山女学園大学教授)
第3回 日 時 ▶▶3月6日(日) 14:00～16:00
テ マ ▶▶男女共同参画時代に生きる子どものために大人ができること
講 師 ▶▶林 陽子(中部学院大学教授)
受 講 料 ▶▶(全3回)1,500円、(公開講座のみ600円)
定 員 ▶▶40名、ただし公開講座は120名

ウーマンネットワーク支援事業 2

しなやかにエコスタイルを創る女性たち ～共感空間をつくる～

家族を想い、地球を想い、次代の社会にとって価値ある仕事をつくり、たおやかに自分らしいエコスタイルを持ち合わせている女性がたくさんいます。おだやかに、しなやかに、時に力強く表現し、響きあう関係性を積み重ねています。彼女たちが大切にしていることは「共感」です。講師がリスペクトする女性たちの活動紹介をしながら、エコをちょっと意識した「共感」空間をつくる、そんなワークショップを行います。

日 時 ▶▶2月26日(土) 13:30～16:30
講 師 ▶▶新海洋子(環境省中部環境パートナーシップオフィスチーフプロデューサー)
参 加 費 ▶▶1,400円(エコグッズ付)
定 員 ▶▶50名(女性)

参画トピックス

愛知県

はがき1枚からの男女共同参画

身近なところから男女共同参画を考えていただくために、愛知県では広く県民の皆様から「はがき1枚からの男女共同参画」作品を募集しております。

今年度は1,769作品と過去最高の応募をいただき、このなかから、最優秀作品4点と優秀作品10点が選ばれました。

詳細はホームページでご覧いただけます。



鬼頭 克治さん 春日井市
(一般部門)



池田 萌さん
愛知教育大学附属岡崎中学校2年
(児童・生徒部門)

平成22年度 最優秀作品



中山 寛斗さん
蟹江町立学戸小学校4年
(児童・生徒部門)



吉川 昂希さん
大治町立大治中学校2年
(児童・生徒部門)

問い合わせ先

愛知県県民生活部男女共同参画室

電話 052-954-6179 <http://www.pref.aichi.jp/danjo/>

「ジェンダー不平等指数」 日本は12位

国連開発計画(UNDP)は、11月に『人間開発報告書2010』において、新しい指数「ジェンダー不平等指数(GII)」を発表しました。GIIは、女性の健康の水準と教育の水準、政治や職場への参加の度合を考慮に入れて、国の中での男女の格差を把握し、同時に国家間の比較を行うことを目的とする指標です。

日本は138か国中で12位でした。最も平等とされたのはオランダで、2位デンマーク、3位スウェーデンと続き、そのほか7位ドイツ、11位フランス、20位韓国、37位アメリカ、38位中国などとなっています。

なお、GIIは、これまでの「ジェンダー開発指数(GDI)」と「ジェンダー・エンパワーメント指数(GEM)」にかわるものです。

詳しくは、国連開発計画東京事務所のホームページ「人間開発報告書2010」をご覧ください。

<http://www.undp.or.jp/hdr/global/2010/index.shtml>

このコーナーでは、男女共同参画社会の実現に向けた活動をしている県内の団体をご紹介します。
第4回は、愛知県内全域で活動する「農村輝きネット・あいち」にお話を伺いました。

農村輝きネット・あいち

地域に根ざして47年

「農村輝きネット・あいち」は、昭和39年1月に設立され、現在グループ員678名、県内に8つの支部をもつ農村女性の団体です。

暮らしをよくしていこうと農村女性が集まり、地域で生活改善実行グループとして活動していたものが発展して今の組織になりました。農山漁村の技術の情報交換、リーダー研修会、農とくらしの研究発表大会、食農教育活動などにも取り組んでいます。農村女性の地位向上をめざして農業委員に女性を登用する運動も他の農村女性団体とともにに行い、徐々に成果が上がっています。

農村に残る「女性の技」を次世代へ

結成40周年を機に始めた「輝きネット・あいちの^{わびと}技人」制度では、味噌作りや農産物の加工など、さまざまな技をもつ女性を技人として認定しています。「農村に残る優れた技術を次世代へ伝えていきたい」と会長の青山伊津子さん。技人が講師となって郷土料理の講習会を開催するなど、県内の各地で活躍されているそうです。

「農家では女性が参画するのは当たり前、ごく自然に男女共同参画を実践しているんです」とおっしゃる青山さん。農業経営や地域活動にも積極的に参画して、名前どおりの輝きのある活動をされています。「参加しているとメリットがいっぱいあるんですよ」と、誇りをもって活動に取り組んでいらっしゃる様子が伝わってきました。



農とくらしの研究発表大会



豆腐づくり指導

もっと活動の詳細を知りたい時は、ウィルあいち情報ライブラリーで所蔵している機関誌「^わこんにち輪」をご覧ください。

相談コーナー



★相談コーナー専用ダイヤル
電話 052-962-2614

受付時間 火～金曜日 9:00～12:00、12:45～16:30
土・日曜日 9:00～12:00、12:45～16:00

★DV専門電話相談専用ダイヤル
電話 052-962-2568

受付時間 原則として第1週のみ水曜日
その他の週は土曜日 14:00～15:30

ウィルあいち相談コーナーでは、女性が危機・岐路に立ったときこそ成長のときと考え、相談者の持つ力を引き出し、解決のための一歩を踏みだすお手伝いをしています。今回のシリーズでは、「目には見えにくい心の状態が、体の症状として現われている事例」をもとに、密接に繋がった心と体の関係を考えて行きたいと思います。 ※事例はプライバシー保護のため、実際の相談とは設定や状況を変えてあります。

暴力を振るわれるということは、体と心に大きな影響を与えます。この回では暴力の関係の中で暮らすことで、心身に起きるさまざまな影響を考えたいと思います。

Dさんの事例

「主人はよく怒鳴ります。主人と居ると緊張してビクビクし、最近では主人が帰る時間になるとドキキします。玄関から居間まで何か言われることがないかチェックし、何度も時計を見ます。頭痛もありますが、横になると「怠け者」と言われます。主人が怒るのもしょうがないのです。私が駄目だから…でもどうしたら良いのか分からないのです。」

Dさんは50歳、介護のパートをしています。長男と長女は共に自宅を離れ、夫と二人暮らしの毎日です。何か息苦しい感じがありましたが、どこの夫もこんなものだと思います、我慢することでやり過ごしてきました。少し前からDさんは体調の悪さを訴え寝込むことが増えました。介護仲間に夫との生活の辛さをこぼしたら「精神的なDVじゃない?」といわれ、夫とどう暮らすか考えたいと相談にいらっしやいました。

自分の力を取り戻す

Dさんは当初、うまくやれなかった自分を責めてばかりいました。面接相談で話すうちに、夫の怒りはDさんの行動とは関係なく、理不尽な言い分だと思うようになり「私は悪くなかったのだ」と実感されました。夫が嫌な顔をすることでDさんはコントロールされていたなど、自分の身に何が起きていたかに理解が進み、自分への信頼を積み上げていくにつれ、不調を訴えることも減りました。暴力は、不安、罪悪感、自責感、無力感、睡眠障害、頭痛腹痛などの体の不調など、心身に影響を与えていると言われています。これらの症状は過酷な日常を生きぬく適応症状であるともいえますが、その回復は容易ではありません。

相談員は相談者が自分の中にある「力」を取り戻し、もしくは持っていることに気づくようエンパワメント*しながら、相談者のペースで考えていくことを支援します。あなたはひとりぼっちではありません。ウィルあいち相談コーナーは、人生の困難な時期に相談者とともにありたいと願っています。

※エンパワメント:抑圧され、傷つけられ、外に出すことを阻止されてきた自分の力に気づくこと。内なる力の回復。

情報

ライブラリーから

図書の紹介

～人生と仕事を楽しむために～

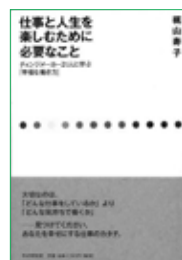
女性にとっても男性にとっても、長い人生の中で大きな部分を占める「仕事」。忙しさに追われてばかりで、楽しめなくなっていないませんか?情報ライブラリーの図書の中から、人生と仕事を楽しむための工夫が書かれている図書をご紹介します。



『ほんとうの豊かさを手に入れる 人生と仕事の段取り術』

小室淑恵著 (PHP研究所)

仕事にも人生にも、段取りは欠かせない。働き方を見直してライフもワークも充実させるために、「段取り力」を身に付けよう。仕事効率を上げて残業を減らすためのノウハウから、豊かな人生を送るための工夫まで、男性も女性も使えるさまざまな段取りテクニックをまとめる。



『仕事と人生を楽しむために必要なこと チェンジメーカー21人に学ぶ「幸福な働き方」』

梶山寿子著 (PHP研究所)

人生の豊かさ、輝きは、やりがいのある充実した仕事や働く喜びがもたらしてくれる。人との絆を大事にして他者の幸せや世の中のために働く、そんな気持ちのいい働き方、生き方を実践する21人を紹介し、「自分を幸せにする仕事」について考える。



『無理しないほうがうまくいく! ナチュラル・キャリア実践術』

弓ちひろ著 (朝日新聞出版)

もっと自然体で、長く働き続けるのが「ナチュラル・キャリア」。つつい頑張りすぎてしまう女性たちに向けて、「一生懸命やるよりも、ラクするための工夫を考えよう」とキャリア・カウンセラーの著者が、仕事も人生も大事にしながら毎日楽しく暮らすための方法を紹介する。

○ほかにもこんな図書があります。

『仕事も人生も4つのボールでうまくいく』 タッド・バッジ著

『夢をかなえる!デキる女の「時間活用術」 仕事ができて、人生もうまくいく』 PHPカラット編

『出会った人すべてを味方に変える技術 仕事も人生も思いどおりになる!』 臼井由妃著

『新版女性のキャリアデザイン 働き方・生き方の選択』 青島祐子著

『働く女性が拓く市場 均等法下ではぐくまれた価値観と消費動向』 日本経済新聞社産業地域研究所編著

『男女均等の人事管理 改正男女雇用機会均等法への対応一問一答』 荻原勝著 など



整理休館のお知らせ

ウィルあいち情報ライブラリーでは、蔵書点検や書架整理を集中的に行うため、次の期間は休館します。期間中は、資料の貸出、予約、図書の貸出期間延長、視聴覚資料(ビデオ・DVD)の返却、レファレンス(調査)などをご利用いただくことができません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

— 平成23年 2月14日(月)～21日(月) —

この休館にあわせて、通常は図書15日間、視聴覚資料8日間の貸出期限を延長し、次の対象期間に貸出した資料に限り、一律に平成23年2月24日(木)が返却期限となります。

対象期間 ◆図書…2月1日(火)から2月9日(水)までに貸出する図書 ◆視聴覚…2月8日(火)から2月13日(日)までに貸出する資料

休館中、ホームページの蔵書検索は通常どおりご利用いただけます。

問い合わせ先 ウィルあいち情報ライブラリー 電話052-962-2510